

離島で民泊 「宝物」発見

各地で思い出づくり

那覇の児童満喫

沖縄本島の子どもたちが離島で民泊し、住民らと交流する県の「離島体験学習促進事業」が12月26日、伊是名、宮古などで行われた。2泊3日の日程。費用は全額、公費負担。離島を訪れた子どもたちは農業体験や住民との交流、民俗芸能にも触れるなど楽しい思い出をつくった。

伊是名で楽しく農業体験

【伊是名】島を訪れたのは那覇市立城東小学校の5年生34人。26日は少し波が高く船酔いが心配されたが、島に着いた子どもたちは伊是名漁協の養殖場で海ぶどうの植え付け体験をやり、その後、島の収穫作業を体験し、その後はキビ刈り体験もした。JA伊是名支店の東江邦雄さんによるキビ刈りの道具の説明があった。はじめは、東江さんが横につき、子ども一人一人にキビ刈りを体験させたが、うまくナタやカマを使えるようになると、すすんでキビを刈ることもできた。



ナタを使い、意識を集中してキビ刈りをする城東小学校の児童たち=伊是名村字諸見区

27日は朝からトウガンやカボチャの収穫作業を体験し、その後はキビ刈り体験もした。JA伊是名支店の東江邦雄さんによるキビ刈りの道具の説明があった。はじめは、東江さんが横につき、子ども一人一人にキビ刈りを体験させたが、うまくナタやカマを使えるようになると、すすんでキビを刈ることもできた。永山里奈さんは「昨日からずっと楽しい。伊是名の子どもと仲良くなったのでうれしかった。キビ畑も見たことがなかったし、キビも甘くておいしい」と初めての体験をとても楽しんでいるようだった。

(末吉雅枝通信員)

自然学習体験する泊小学校の子どもたち=久米島ホテル館

ドキドキ 久米島の自然

【久米島】那覇市立泊小学校(長尾栄正校長)の5年生38人は料理、文化、自然学習、ホームビジット(家庭訪問)でキビ刈り体験などを行い、島の自然・文化、人との触れ合いを楽しんだ。久米島ホテル館では佐藤文保館長、久米島ホテルの会佐藤直美さんらが同館側の川辺でネイチャーゲームを指導し、子どもたちがグループごとに発表を行った。子どもたちは「那覇では見られない生き物がいた」など、目を輝かせて発表した。ホームビジットでオーハ島に郵便物を届けに行った岡本翼君、黒糖作りした川本浩輔君は初体験に感動した。



伊江の子と仲良く交流

【伊江】城東小学校の5年生28人が村を訪問、民泊を通して地元の小学生や住民との交流体験を行った。一行は受け入れ先の家族の案内で島を巡り、歴史と平和について学んだ。

27日は伊江漁協観光部の協力を得て「海人(うみんちゅ)カレー」づくりを体験したほか、伊江小、西小学校の5年生16人と文化交流会をした。城東小学校の学校紹介の後、島の子どもたちによる歌三線や民俗芸能が紹介された。城東小の児童らは初めて目にする島の文化に興味深げに見入っていた。その後、各グループに分かれてペットボトルを使ったロケットづくりに挑戦。村役場の新保礼人さんの指導の下、1時間ほどで完成させ、野球場で打ち上げた。80メートルを超える飛行を見せたロケットもあり、歓声がこだました。神村幸弥君は「工作が好きなので楽しみにしてきた。思ったより飛びうれしかった」と語った。



優しい宮古「また来たい」

【宮古島】島には泊小学校の5、6年生38人が滞在、市内の民家に泊まって農業体験や自然観察など楽しんだ。28日は、市平良の市体験工芸村でサンゴや貝を使ったストラップやそば作りを体験した。写真。羽賀万葉君(12)は「(民泊は)最初ばかりと緊張したけど、とても優しくしてもらった。手伝ったゴーヤの受粉作業は難しかった」と話した。西原かのんさん(12)は「農家の人はとても大変だと思った。沢岬愛海さん(12)は「宮古はとても優しくな。また来たい」と笑顔で話した。



ペットボトルロケットで優勝した「スターズ」の児童たち=伊江村